



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 GSIクレオス
 コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中島 浩二

(氏名) 大西 文博

TEL 03-5211-1802

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	69,556	△8.7	331	△63.8	469	△30.6	240	△48.8
26年3月期第2四半期	76,212	24.0	915	9.6	675	△10.9	470	△23.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 311百万円 (△73.3%) 26年3月期第2四半期 1,168百万円 (256.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.75	—
26年3月期第2四半期	7.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	67,456	15,029	22.2
26年3月期	66,829	14,792	22.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,980百万円 26年3月期 14,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△5.4	1,500	△10.0	1,200	△12.5	1,000	△2.4	15.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	64,649,715 株	26年3月期	64,649,715 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	418,531 株	26年3月期	413,027 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	64,234,585 株	26年3月期2Q	64,254,926 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. (参考) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益に改善が見られるなど緩やかな回復基調にあるものの、消費増税に伴う駆け込み需要後の反動減の長期化や天候不順などにより個人消費に足踏みが見られることや、円安の進行による原材料価格の上昇に加えて、欧州景気の停滞や中国経済の減速など海外景気に下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、繊維関連取引が減少しましたので、前年同期比6,655百万円、8.7%減収の69,556百万円となり、売上総利益は、前年同期比215百万円、3.1%減益の6,745百万円となりました。営業利益は、一般管理費が増加しましたので、前年同期比584百万円、63.8%減益の331百万円となり、経常利益は、前年同期比206百万円、30.6%減益の469百万円、四半期純利益は前年同期比229百万円、48.8%減益の240百万円となりました。

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

- ・機能性の高いインナー用の原糸・生地や企画提案型の婦人ファンデーションの取引は、個人消費の不振により減少しました。
- ・アウター用の生地輸出は、米国向けが好調に推移したことに加え欧州やアジア向けも増加しましたが、アウター製品のOEM取引は、婦人向け、紳士向けともに減少しました。また、婦人アパレル事業も、販売が伸びず苦戦しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比6,266百万円、9.9%減収の56,959百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比564百万円、68.4%減益の260百万円となりました。

<工業製品関連事業>

- ・塗料・樹脂の硬化用添加剤は、欧米やアジアでの取引が伸長し、フィルムの取引は、前年並みとなりましたが、機械の取扱いが減少しました。また、理化学機器や化粧品原料などの輸入品は、円安進行の影響を受けて利益率が低下しました。
- ・ホビー関連商品は、輸出が増加したプラモデル用塗料が堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比389百万円、3.0%減収の12,596百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比27百万円、8.8%減益の280百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、商品の増加などにより、前期末比626百万円増加の67,456百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比389百万円増加の52,426百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加などにより前期末比237百万円増加の15,029百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは495百万円の増加（前年同期比929百万円の収入の増加）となりました。主な要因は仕入債務の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは0百万円の減少（前年同期比38百万円の支出の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは754百万円の減少（前年同期比871百万円の支出の増加）となりました。主な要因は借入金の返済による支出によるものです。

これらに、換算差額60百万円を減算、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額105百万円を加算した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比213百万円減少の7,917百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算出しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が180百万円減少し、利益剰余金が180百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,130	7,917
受取手形及び売掛金	34,937	34,330
商品	10,542	11,687
未着商品	50	253
その他	1,869	2,180
貸倒引当金	△762	△881
流動資産合計	54,769	55,487
固定資産		
有形固定資産	5,414	5,393
無形固定資産	974	945
投資その他の資産	5,671	5,629
固定資産合計	12,060	11,968
資産合計	66,829	67,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,958	28,609
短期借入金	16,149	16,763
1年内返済予定の長期借入金	1,496	1,497
未払法人税等	91	147
引当金	413	374
その他	2,803	2,486
流動負債合計	48,913	49,879
固定負債		
長期借入金	1,860	1,165
退職給付に係る負債	885	626
その他	377	755
固定負債合計	3,123	2,547
負債合計	52,036	52,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	895	895
利益剰余金	6,782	6,949
自己株式	△70	△71
株主資本合計	14,793	14,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	116
繰延ヘッジ損益	△1	5
為替換算調整勘定	163	△6
退職給付に係る調整累計額	△88	△96
その他の包括利益累計額合計	△50	20
少数株主持分	49	49
純資産合計	14,792	15,029
負債純資産合計	66,829	67,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	76,212	69,556
売上原価	69,251	62,811
売上総利益	6,960	6,745
販売費及び一般管理費	6,044	6,413
営業利益	915	331
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	48	46
為替差益	-	235
その他	48	57
営業外収益合計	106	351
営業外費用		
支払利息	169	171
為替差損	121	-
その他	55	42
営業外費用合計	346	214
経常利益	675	469
特別利益		
投資有価証券売却益	3	-
特別利益合計	3	-
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	11	1
投資有価証券売却損	-	0
投資有価証券評価損	44	-
関係会社株式評価損	-	0
ゴルフ会員権評価損	8	-
事業撤退特別損失	-	47
特別損失合計	64	51
税金等調整前四半期純利益	614	418
法人税、住民税及び事業税	137	171
法人税等調整額	5	5
法人税等合計	143	177
少数株主損益調整前四半期純利益	470	241
少数株主利益	0	0
四半期純利益	470	240

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	470	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	240
繰延ヘッジ損益	68	7
為替換算調整勘定	410	△169
退職給付に係る調整額	-	△7
その他の包括利益合計	697	70
四半期包括利益	1,168	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,168	311
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	614	418
減価償却費	137	158
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	82
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△81	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△86
受取利息及び受取配当金	△58	△59
支払利息	169	171
為替差損益 (△は益)	0	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	1
有形固定資産除却損	11	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	44	-
関係会社株式評価損	-	0
ゴルフ会員権評価損	8	-
事業撤退特別損失	-	47
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,562	464
たな卸資産の増減額 (△は増加)	49	△1,168
その他の資産の増減額 (△は増加)	81	695
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,950	742
その他の負債の増減額 (△は減少)	△532	△768
その他	70	12
小計	△130	714
利息及び配当金の受取額	59	57
利息の支払額	△169	△170
法人税等の支払額	△192	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433	495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34	△16
有形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	△11	△2
投資有価証券の売却による収入	74	44
出資金の払込による支出	△82	△28
貸付けによる支出	△57	△2
貸付金の回収による収入	63	11
その他	9	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	486	190
長期借入れによる収入	724	228
長期借入金の返済による支出	△896	△923
リース債務の返済による支出	△67	△124
配当金の支払額	△125	△125
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	117	△754
現金及び現金同等物に係る換算差額	169	△60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△185	△319
現金及び現金同等物の期首残高	7,970	8,130
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	143	105
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,928	7,917

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,226	12,986	76,212	—	76,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	67	67	(67)	—
計	63,226	13,054	76,280	(67)	76,212
セグメント利益	825	307	1,133	(217)	915

(注) 1 セグメント利益の調整額△217百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用149百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,959	12,596	69,556	—	69,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	69	69	(69)	—
計	56,959	12,666	69,626	(69)	69,556
セグメント利益	260	280	541	(209)	331

(注) 1 セグメント利益の調整額△209百万円には、セグメント間取引消去69百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用139百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. (参考) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	35,311	3,125	1,488	39,924
II 連結売上高				76,212
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.3	4.1	2.0	52.4

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	31,351	3,293	1,704	36,349
II 連結売上高				69,556
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	45.1	4.7	2.5	52.3

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

北米・・・・・・アメリカ

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。